

安全データシート

酸化鉄

作成日 2018年2月15日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品の名称	コメ DNA 抽出キット
該当コンポーネントの名称	Magnetic Particles
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX 番号	077-565-6995
製品コード	9197
TaKaRa Code	9197

2. 危険有害性の要約 (以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す)

GHS 分類

物理化学的危険性	<u>危険・有害性項目</u>	<u>GHS 分類結果</u>
	火薬類	分類対象外
	可燃性 / 引火性ガス	分類対象外
	可燃性 / 引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性 / 酸化性ガス類	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性物質および混合物	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性物質および混合物	区分外
	水と接触して可燃性 / 引火性ガスを発生する物質および混合物	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	<u>危険・有害性項目</u>	<u>GHS 分類結果</u>
	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ミスト)	分類対象外
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分 3 (気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分 1 (呼吸器系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	<u>危険・有害性項目</u>	<u>GHS 分類結果</u>
	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

危険有害性情報:

注意書き:

危険

皮膚刺激、重篤な眼の損傷、呼吸器への刺激のおそれ、長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害
【安全対策】この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。粉じんを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。眼に入った場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報： 国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	混合物
化学名（又は一般名）	酸化鉄（Ferric oxide）
別名	酸化第二鉄（Iron (III) oxide）、三酸化二鉄（Diiron trioxide）
成分及び含有量	1 - 5%
化学特性（化学式又は構造式）	化学式：Fe ₂ O ₃
官報公示整理番号	(1)-357
CAS No.	1309-37-1

4. 応急措置

眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付いた場合：	汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：	医師に連絡すること。口をすすぐこと。
予想される急性症状及び遅発性症状：	吸入： 咳 眼： 発赤
最も重要な兆候及び症状：	情報なし
応急処置をする者の保護：	情報なし
医師に対する特別注意事項：	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：	本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤：	棒状注水
特有の危険有害性：	情報なし。
特有の消火方法：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	関係者以外の立入りを禁止する。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。風上に留まる。
環境に対する注意事項：	環境中に放出してはならない。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
回収・中和：	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策：	情報なし

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：	
技術的対策：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気：	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項：	接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避：	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管：	
技術的対策：	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質：	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件：	容器は、換気の良い涼しい所で保管すること。混触危険物質、可燃物から離して保管する。施錠して保管すること。
容器包装材料：	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	日本産業衛生学会（2005年版）： 第2種粉じん（吸入性粉じん 1mg/m ³ 、総粉じん 4mg/m ³ ） ACGIH（2005年版）： TLV-TWA 5mg/m ³
設備対策：	空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具：	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な眼の保護具を着用すること。安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること
皮膚及び身体の保護具：	保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。
適切な衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

形状	色：赤褐色～黒色	性状：結晶又は粉末
----	----------	-----------

臭い：金属臭	pH：データなし
融点・凝固点：1565	沸点、初留点及び沸騰範囲：データなし
引火点：燃焼しない	発火点：データなし
爆発範囲：燃焼しない	蒸気圧：該当しない
蒸気密度：該当しない	比重（密度）：5.24、5.25
溶媒に対する溶解性：水に不溶	オクタノール／水分配係数 log P：該当しない
自然発火温度：燃焼しない	分解温度：データなし
臭いのしき（閾）値：データなし	蒸発速度（酢酸ブチル = 1）：該当しない
燃焼性（固体、ガス）：不燃性	粘度：データなし

10. 安定性及び反応性.

安定性：	常温、常圧下では安定。
危険有害反応可能性：	次亜塩素酸カルシウムと接触すると反応する可能性がある。
避けるべき条件：	高温、混触危険物質との接触。
混触危険物質：	アルミニウム、酸化エチレン、塩素酸カルシウム。
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

刺激性：	目刺激	データなし
急性毒性：	経口毒性	データなし
	経皮毒性	データなし
皮膚腐食性／刺激性		ヒトの皮膚に発赤が生じ、中等度の刺激性がある。皮膚刺激（区分2）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		ヒトの眼に腐食性がある。重篤な眼の損傷（区分1）
呼吸器感受性又は皮膚感受性		データなし
生殖細胞変異原性		in vivo の試験結果が無く、in vitro で複数指標の強い陽性結果も無く技術指針に分類できないとした。
発がん性		ACGIH はグループ A4（ヒト発がん性に分類できない物質）に分類されていることに基づき、区分外とした。
生殖毒性		データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）		ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの記載4)、5) に基づき、区分3（気道刺激性）とした。呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）		ヒトで胸部X線所見に異常を生じるが、臨床的に問題はないとの記載および肺に蓄積すると鉄症になるが、良性のものであり線維症に進展しないとの記載がある。また、ばく露により金属熱にかかることがあるとの記載がある。良性ではあるが肺への影響が見られたこと、および金属熱にかかる可能性があることから、区分1（呼吸器系）とした。長期または反復ばく露による呼吸器系の障害
吸引性呼吸器有害性		データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データ不足のため分類できない
水生環境慢性有害性	データ不足のため分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器および包装：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
UNNo.	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	消防法の規制に従う。
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別安全対策：	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適応法令

毒物および劇物取締法：	該当しない
化管法(PRTR法)：	該当しない
労働安全衛生法：	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）、名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条別表第9）
カルタヘナ法：	該当しない

16. その他 引用文献等

1. 改定第2版 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社（2007）
2. 化学品かんたん法規制チェック「ezCRIC」日本ケミカルデータベース株式会社 Web 版
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）GHS分類結果データベース
4. 危険物防災救急要覧—化学物質の性状と取り扱い—（社）神戸海難防止研究会編 成山堂書店（1993）
5. 化学大辞典 共立出版（1993）
6. Registry of Toxic Effects of Chemical substances NIOSH CD-ROM (2004)
7. The Merck Index 13th edition Merck&Co.Inc (2001)

- * 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定して販売しております。
 - * 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者がお取り扱い下さい。
 - * 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。
 - * 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は製品としての保証値ではありません。
 - * 注意事項等については通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。
-